



商学部

Faculty of Commerce
2012

行動する知性。

 中央大学

The logo consists of a red stylized 'C' or 'O' shape followed by the text "中央大学" in a bold, black, sans-serif font.



グローバル化が進む社会 多様化する最先端のビジネスを学ぶ

商学部長 石川 鉄郎

2010年に創立125周年を迎えた中央大学は「実地応用の素を養う」という理念のもと、多くの人材を送り出していました。100年を超える歴史を持つ商学部も、同じく実学に沿った教育を行っています。“商学部”は文字通り「商い」の学問、ビジネスについて勉強する学部です。21世紀に入って、ますます多様化するビジネス。経済学や法律なども含めて、ビジネスを中心とした最先端の知識を取り入れて学んでいきます。

本学部が目指すのは、グローバル化が進む社会で活躍できる国際感覚を備えた人材の育成です。複雑化する社会の中で、求められる高度な専門性と、それを支える幅広い教養と知識を身につけてほしいと考えています。

卒業生の多くは大きく分けて2つの分野で活躍してい

ます。1つはビジネス界。企業のトップや起業家を多く輩出しています。もう1つは、公認会計士や税理士など会計のプロフェッショナルとして。学内には資格試験をめざす学生のための施設も揃っています。授業と資格試験の勉強を両立して、在学中に資格を取得する学生が多いのも本学部の特徴です。

大学生活は社会に出る準備をして、大人に成長していく大切な時期です。ですから、高校生の皆さんには、自分の将来をしっかりと見据えて進路を選んでほしいと思います。中央大学商学部は、学習に集中できる環境が整っています。学びの目的、志を持つ学生を、私たち教員も全力でバックアップしますので、4年間で大きく成長して、社会に羽ばたいてください。

Contents

学部長メッセージ	01	商業・貿易学科	10
学びの特徴	02	金融学科	12
学科選びのポイント	04	自由な学び	14
経営学科	06	学びを支える	16
会計学科	08	学びを深める（ゼミナール）	18

学びを深める（中央大学経理研究所）	20
キャリアをデザインする	22
商学部生の進路	24

学びの特徴

第一線の実務家による授業など、実践で学ぶビジネス

■ 総合講座・特殊講義



業界のエキスパートから ビジネスに直結したテーマを学ぶ

業界の最前線で活躍する実務家を講師に、ビジネス界直結の授業で進路選択をバックアップしています。『総合講座』では、第一線で活躍する多彩なリーダー達の生の声から学ぶ授業を開講。ビジネスに直結した特定のテーマを探求する『特殊講義』では、キヤノン、野村證券など企業の協力を受けて業界のエキスパートを講師に招き、「キヤノンにおける知的財産実務」「証券ビジネス論」といった、実務に即したテーマを学ぶことができます。 [» P.22 も参照ください](#)

●写真・講師プロフィール

一戸 裕子 株式会社羊土社 代表取締役社長

羊土社／1979年に設立された、バイオサイエンスと医学の専門出版社。科学・医学の真の発展に寄与すべく、1983年創刊の月刊誌「実験医学」をはじめ、多数の書籍を世に送り出している。

プログラム科目

実践学習で専門的知識を身につける

「21世紀のビジネス塾」ともいえる新しいコンセプトの科目群です。公認会計士や税理士といった職業会計人を目指す『アカウンタント・プログラム』、ビジネス英語を集中的に学ぶ『ビジネス・コミュニケーション・プログラム』、ITを活用して経営戦略を考える『ビジネス・イノベーション・プログラム』、企業ファイナンス（専門資格）のキャリアを目指す『金融スペシャリスト・プログラム』。これら4つの科目群を少人数体制で開講しています。 [» P.17 も参照ください](#)



ゼミナール

主体性を重視した少人数制授業での人材育成

学生の主体性を重視したゼミナール（演習）を1年次から開講しています。15名程度の少人数クラスで構成され、1年次は、人文・自然・社会科学の幅広い分野から特定のテーマをめぐり、討論・発表などを通じて基礎的能力を養う「ベーシック演習」を開講。2年次では、1年次に養成された能力を応用・発展させる「課題演習」、3年次・4年次の2年間は専門分野を同一教員により学ぶ「演習」を開講しています。

[» P.18 も参照ください](#)



[» もうワンポイント！](#)

ビジネスコンテスト

多数のビジネスコンテストで優秀な成績を収める商学部生

商学部の学生は学内外のビジネスコンテストに積極的に参加し、多数の賞を獲得しています。商学部生が中心となり、全学向けのコンテストも開催しています。世界同時開催2010年『Samsung Mobilers 1st』で見事優勝した経営学科の遠山光さんのコメントです。「日本全国から選抜された20名の学生が4チームに分かれて、新発売の携帯電話のPR活動を行いました。ポスターとキャッチコピーの企画制作、イベント企画開催、CM企画作成・放映などのミッションと予算管理まで、すべて初めての経験。大学で学んだ経営戦略やマーケティングを、世界的な企業のもとで実践する貴重な経験でした。」



遠山 光
経営学科フレックス・コース3年
ニュージーランド Upper Hutt College 出身

興味や都合にあわせて履修できる自由度の高さ

■ フレックス・コース／フレックスPlus1・コース



資格、技能の修得に専念できる

商学部では各学科に「フレックス・コース」「フレックス Plus1・コース」と、2つのコースを設けています。両コースとも1～7時間の中でも自分に合ったフレックスな時間割設計ができます。ただし、外語科目については、フレックス・コースは英語8単位、第二外語8単位の計16単位が必修、フレックス Plus1・コースは、英語または第二外語から選択した1カ国語8単位が必修となります。（卒業に必要な総単位数は同じです。） [» P.17 も参照ください](#)

■ コース選択外国語



レベルや意欲、将来の目的に合わせて選べる

英語は到達度別に3コースを設置。会話科目は初級・中級コースを設け、自分のレベルに合った学習ができ、2年次にはニーズに応じ、専門性の高い英語も学べます。ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語では意欲別にインテンシブ、レギュラーの2コース、会話は英語と同様、初級・中級コースから選択できます。ロシア語と朝鮮語はレギュラー・コース（総合的な語学運用能力を身につける）で学べます。留学や将来の目的に合わせて選択してください。
[» P.15 も参照ください](#)

自由選択枠

自分の興味に合わせて履修できる

学科の専門科目以外にも、他学科・他学部の科目から興味や進路を意識した幅広い分野の科目を選択することができます。例えば、経営学科の学生が法学院の法律関係の科目を選択したり、会計学科の学生が金融学科の証券関連の科目を履修することも可能です。これは専門ゼミについても同様で、学科を超えて自由に選択することができます。

[» P.14 も参照ください](#)



商学部で学ぶ幅広い分野のひとつ
武田直郎教授「生態環境についての授業
(ニホンアカガエル・サワガニの造成池)」にて

[» もうワンポイント！](#)

国家資格に強い

「公認会計士試験」などの受験者を全面的にサポート

商学部では、高度職業人育成の考えのもと、アカウンタント・プログラム（プログラム科目）を開講し、公認会計士・税理士など国家資格を目指す学生に対応した授業を行っています。また、キャンパス内にある中央大学経理研究所では、一般的な資格試験対策予備校の半額以下の授業料で、資格試験受験対策講座を受講できます。商学部では、これらの受講者を中心に毎年多数の現役合格者を輩出。2010年度公認会計士試験では37名（中央大学公認会計士会調べ）が現役合格を果たしました。 [» P.20 も参照ください](#)



学科選びのポイント

商学部では何を学べるの?その答えはあなたの興味に合わせて以下のチャートから導き出してください。
興味のあることはきっとあなたの「学びたい学科」選びのヒントになります。

YES ➤ NO ➤



学科選びに迷つてしまったら…

フリーメジャー・コース(学科自由選択)

通常の学科所属と違い、入学手続き時に「仮所属学科(各学科フレックス・コースへ)」を選び、1年間学びたい分野を見極め、2年次進級の際に学科とコースを再選択(変更)できるのがこのコースの特徴です。

(注) フリーメジャー・コースとは入試募集上の「名称」であり、所属コース名の「フレックス・コース」、「フレックス PlusI・コース」とは異なります。

※ 2012年度入試では統一入試のみの募集です

» P.14も参照ください

2012												2013											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
入学前												1年次											
△△学科フレックス・コースに 仮所属して学習												△△学科フレックス・コース または△△学科フレックス PlusI・コースに所属して学習											
▲ 入試 合格												▲ 学科 選択											



日高 克平 教授
多国籍企業論 担当

経営学科

経営技法を探求し、21世紀企業のビジネスモデルを創造する

経営学科は、現代企業のマネジメントに不可欠な「技法」を探求すること目的としています。「技」とは企業経営のノウハウやスキルであり、「法」とは事業(ビジネス)の社会倫理規範を意味します。この技と法のバランスを欠いた経営は、これからの社会では通用しません。現在、企業を取り巻く環境は大きく変化しようとしています。大量生産・大量消費・大量廃棄のシステムを転換し、持続可能な社会を実現するためのビジネスモデルが構想されています。みなさんも経営学科で未来社会のためのビジネスモデルを設計してみませんか。



矢内 一好 教授
税法 担当

会計学科

会計・税務は国際化という難しい時代を迎えています

会計は国際標準化という時代になり、税務は国内だけではなく国際税務という領域が拡大しています。このような変動をもたらしている原因は、企業等の活動の国際化です。会計は、各国の投資家等が資金の提供等を判断する場合、比較可能性の観点から国際的に統一された会計基準が望ましいのです。また、税務では、個人又は企業が日本だけではなく各国で活動を行い、所得を得ていることに対して適正な課税の問題が焦点になっています。



久保 知一 准教授
流通論 担当

商業・貿易学科

ビジネスはネットワーク誰かと何かをなしとげるー

どんなビジネスでも、一人でできることは限られています。お店で売っている製品の多くはお店ではなくメーカーが作ったものですし、海外の製品を安く買えるのは海外企業とのネットワークが機能しているからです。商業・貿易学科では、ビジネスを多くの企業・消費者から構成されるネットワークとして捉えて流通・マーケティングや国際取引の仕組みを学びつつ、さらにはビジネス英語までもカバーしています。ネットワークに参加して誰かと一緒にになにかをなしとげる。商業・貿易学科では、このことを学びの対象しながら、皆さんに学びのネットワークを提供します。



根本 忠宣 教授
国際金融論 担当

金融学科

金融を知らずに経済や経営を語る無かれ!

アメリカを震源地とする金融危機が世界を駆け巡ったというニュースは、受験生諸君にとつても記憶に新しいであろう。生活に影響を与えるような深刻な問題だけれども、歴史を忘れないがちな僕らに様々なことを教えてくれる絶好の素材かもしれない。大事なのは、危機にはいつも金融が深く係わっているという事実だ。しかもそれから逃れられない。金融を軽視すれば必ず金融にしつぶ返しを食らう。何故ならば、金融は経済活動、もっといえば僕らの欲望の鏡だからだ。原動力といってもいいかもしれない。金融を知らずに経済や経営を語る無かれ。そんな大切な問題を正面から扱う金融学科で君も金融の本質を見つめてみないか!

経営学科

企業活動について、経営戦略、人材開発、情報システムの面から専門的な知識を学ぶ。

■ 学生の一日



社会と結びつく学び。
教室の中だけには収まらない
グローバルな学問です

久保 みさき

経営学科フレックス・コース4年
私立渋谷教育学園渋谷高校（東京都）出身

大学は学びたいことを自由に学べる場です。文化連盟に所属する証券研究会ではCSR（企業の社会貢献）を研究しました。CSRを知るうちに、現在のゼミのテーマである、フェアトレード（公正貿易）に興味を持ち、日高克平ゼミに入ったんです。ゼミでは仲間と一緒に主体的に学ぶことのおもしろさを実感。海外との商取引について調べることで、世界的なビジネスの潮流を知り、日本の消費の現状への理解も深まりました。

ゼミ活動では実際に企業の声に触れる機会もあります。昨秋には私たちのゼミが企画・提案したフェアトレード商品がイオンのプライベートブランドから発売されました。ドミニカ共和国産のフェアトレード認証カカオ豆を原料としたチョコレートです。このように経営学科の学びは教室の中だけにとどまらず、現実のビジネスと連動しています。大学での学びが社会と結びついた貴重な経験は、忘れられない思い出となりそうです。

» 一週間のカリキュラム（4年次前期）

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1限		西洋各國史(3) (文学部)	生命環境学		消費者行動論I	
2限		英語史(1) (文学部)	上級外国語演習 (フランス語) I		サービス・マーケティング論	
3限		東南アジア 経済論	環境科学I		演習IV	
4限					スポーツ科学I (スポーツビジネス)	
5限						
6限						
7限						

» 一日のスケジュール（金曜日のカリキュラム）

7:00	起床	
9:00	①多摩モノレールで通学。 駅を降りたらそこはキャンパス	
12:00	消費者行動論I サービス・マーケティング論 ②ランチは「喫茶ぶらっと」で。 焼き立てパンがお気に入り！ 演習IV	
15:00	スポーツ科学I	
18:00	③放課後は聖蹟桜ヶ丘や高輪不動へ。 友人とカフェでおしゃべり	
21:00	就寝	
0:00		

■ 経営学科カリキュラム（抜粋）

学 年	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	履修方法および卒業必要単位
セメスター	第1・第2	第3・第4	第5・第6	第7・第8	4単位必修
基礎科目		マクロ経済学 ミクロ経済学			12単位必修
共通基本科目	経済学 簿記論 流通論 金融論 基礎数学 線形代数 確率論 解析学 応用解析学 社会学 統計学 情報処理概論				
基礎科目	経営学	経営管理論			8単位必修
管理論系		経営史 経営科学	多国籍企業論 スモールビジネス論 経営組織論 経営社会学 企業経済学 日本経営論	4単位必修	32単位必修 ^{※1}
情報論系			経営戦略論 マーケティング管理論 財務管理論 労務管理論 生産管理論	4単位必修	
プログラム科目 ^{※1}	アカウンタント・プログラム	プログラム講義II プログラム演習I・II			
	ビジネス・コミュニケーション・プログラム	プログラム講義IV プログラム演習III・IV			
	ビジネス・ノーベーション・プログラム	プログラム講義V プログラム演習V			
	金融スペシャリスト・プログラム	プログラム講義VI ^{※2} プログラム演習VI			
インターンシップ科目	インターンシップ入門	インターンシップ実習 学部共通インターンシップ			
経済・法律科目	日本経済論 社会心理学 経済史 経済地理	財政学 社会思想史 アメリカ経済論 EU経済論 中国経済論 ロシア経済論 景気変動論 東南アジア経済論 進化経済学 統計理論			12単位必修
	法と社会 法と市民 法と企業	民法總論 物権法 契約法 会社法 税法	企業法務論 独占禁止法 知的財産法 労働法 法学特講	4単位必修	
関連科目	中級簿記論 高等簿記論 会計システム（取引処理） 企業経営と会計	会計システム（分析管理） 財務会計論 厚健計算論 連結会計論 企業評議論	会計会計論 業績評議会計論 英文会計論 監査論 税務会計論 戰略会計論 経営分析論 企業評議論 コスト・マネジメント		
	マーケティング論 ビジネス英語（貿易英語入門）	マーケティング・リサーチ 消費者行動論 商業経営論 貿易論 商業史 ビジネス英語（ビジネス・コミュニケーション） ビジネス英語（貿易英語上級） 国際商務論	広告論 商品学 グローバル・マーケティング論 貿易システム論 損害保険論 物的流通論 流通政策論 比較マーケティング論 国際物流論 サービス・マーケティング論		
		銀行論 保険学 ファイナンス論	企業金融論 証券投資論 日本金融論 証券市場論 金融政策論 国際金融論 生命保険論 デリバティブ論		
演習科目	ペーシック演習A・B	課題演習	演習I	演習II／演習論文	
	情報処理演習				

*1 ただし、フレックスPlus1・コースのプログラム履修者については、16単位を限度にプログラム科目で修得した単位を基本科目に含めることができます（必修科目は除く）

*2 プログラム講義VIは1年次配当科目です

*3 上記のはか、カリキュラムには総合人間科目、学部間共通科目、外国語科目（第一外国語・第二外国語）、健康・スポーツ科目、学部・大学院共通科目等が含まれます

全体カリキュラムについては、中央大学商学部公式HPの「学部案内」からもご覧いただけます。

詳しくは、<http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/commerce/index>

O B / O G Message

ゼミと語学に打ち込んだ学生時代
やる気次第で、世界に通用する
コミュニケーション力も磨けます

ソニー・ミュージックグループ
株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ 勤務

佐村 大侑 2007年卒業 岐阜県立岐山高校 出身

ゼミではマーケティングとブランド・ビジネスを研究。大学での学びを生かして、現在は総合エンタテインメント企業でキャラクターの版権管理業務を担当しています。「経営」で学んだ消費者のモチベーション、購買意欲の維持など、実際のビジネスに役立つ勉強をしてきたことを、いま実感しています。



受験生の皆さんへ

学生時代は英語と中国語の勉強にも力を入れていました。「ビジネス・コミュニケーション・プログラム」を活用すれば、ビジネスでのコミュニケーション、海外に通用するプレゼンテーション方法なども学べます。

会計学科

うそ偽りのない財務指標を通して、企業の眞の姿をつかみ、管理する力につける。

■ 学生の一日



資格取得をめざすには
最適な学習環境。
将来は公認会計士として
活躍したい！

柘植 麻史

会計学科フレックス・コース3年
岐阜県立岐阜商業高校 出身

高校時代から簿記の勉強をしていました。「高校で勉強したことを見かせる」という先生の勧めもあって、専門知識をもっと深めようと会計学科へ進学しました。中央大学は、公認会計士や税理士などの国家資格をめざす学生をサポートするシステムが充実しているのが大きな特徴です。資格取得に向けた対策講座では、最新の出題傾向を踏まえた指導が受けられます。学内には経理研究所、炎の塔などの施設も併設されており、勉強に打ち込むには抜群の環境です。

将来は公認会計士として、経済社会のあらゆる場面で活躍したいと思っています。国際税務を研究するゼミを選んだのも、将来の業務に役立つと考えたから。海外進出する日本企業は多いので、国際税務の知識が必要とされるシーンは少なくないはずです。私のように会計に照準を合わせる学生はもちろん、ビジネス全般の視野を広げたい人にも適しているのが商学部。自分の専攻学科以外の科目を自由に選択履修することも可能です。

» 一週間のカリキュラム(3年次前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1限						
2限	演習I	財務管理論I	ファイナンス論I			
3限	経営分析論	税務会計論I				
4限	証券市場論	監査論I				
5限	法人税法I	相続税法				
6限						
7限						

» 一日のスケジュール(月曜日のカリキュラム)

7:00	起床	
9:00	①公認会計士試験に向けて 朝から炎の塔で猛勉強 演習I	①
12:00	②授業の合間に掲示板をチェック	
15:00	経営分析論 証券市場論	
18:00	法人税法I ③放課後も炎の塔へ。休憩中に 友人と情報交換することも	②
21:00		
0:00	就寝	③

■ 会計学科カリキュラム(抜粋)

学年	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	履修方法および卒業必要単位
セメスター	第1・第2	第3・第4	第5・第6	第7・第8	4単位必修
基礎科目	マクロ経済学 ミクロ経済学				12単位必修
経済学					
簿記論 流通論 金融論					
基礎数学 線形代数 確率論 解析学 応用解析学	確率論				
社会学 統計学 情報処理概論					
共通基本科目	簿記論 中級簿記論 高等簿記論 会計システム(取引処理) 企業経営と会計	会計システム(分析管理)			4単位必修
財務会計系	連結会計論 企業結合会計論 英文会計論 監査論 税務会計論				4単位必修
管理会計系	原価計算論 管理会計論				32単位必修
情報論系	コスト・マネジメント 業績評価会計論 経営分析論 戦略会計論 企業評価論				4単位必修
プログラム科目 ^{※1}	アカウント・プログラム プログラム講義II プログラム演習I・II ビジネス・コミュニケーション・プログラム プログラム講義IV プログラム演習III・IV ビジネス・ノバーション・プログラム プログラム講義V プログラム演習V 金融スペシャリスト・プログラム プログラム講義VI ^{※2} プログラム演習VI				
インターンシップ科目	インターンシップ入門 インターンシップ実習 学部共通インターンシップ				
経済・法律科目	経済史 経済地理 日本経済論 社会心理学 計量経済モデル 経済学の分析法 國際関係論	財政学 社会思想史 アメリカ経済論 EU経済論 中国経済論 ロシア経済論 景気変動論 東南アジア経済論 進化経済学 統計理論 企業経済学			12単位必修
法と社会	法と市民 法と企業 民法総論 物権法 契約法 税法	企業法務論 独占禁止法 知的財産法 労働法 法学特講			4単位必修
関連科目	経営史 経営科学 経営管理論 マーケティング論 商業史 消費者行動論 商業経営論 ビジネス英語(貿易英語入門) ビジネス英語(ビジネス・コミュニケーション) ビジネス英語(貿易英語上級) 国際商務論 マーケティング・リサーチ	貿易論 商品学 グローバル・マーケティング論 貿易システム論 消費者行動論 商業経営論 物的流通論 流通政策論 比較マーケティング論 国際物流論 サービス・マーケティング論	広告論 商品学 グローバル・マーケティング論 貿易システム論 損害保険論 物的流通論 流通政策論 比較マーケティング論 国際物流論 サービス・マーケティング論		
演習科目	銀行論 保険学 ファイナンス論	企業金融論 証券投資論 日本金融論 金融政策論 国際金融論 生命保険論 デリバティブ論	特殊講義 外国書講読(英)(独)(仏)(中)(西)(露)(朝) 外国書講読(英)(独)(仏)(中)(西)(露)(朝)		
	ペーチック演習A・B 課題演習	演習I 演習II/演習論文			
	情報処理演習				

*1 ただし、フレックスPlusI・コースのプログラム履修者については、16単位を限度にプログラム科目で修得した単位を基本科目に含めることができます(必修科目は除く)

*2 プログラム講義VIは1年次配当科目です

*3 上記のはか、カリキュラムには総合人間科目、学部間共通科目、外国語科目(第一外国語・第二外国語)、健康・スポーツ科目、学部・大学院共通科目等が含まれます

全体カリキュラムについては、中央大学商学部公式HPの「学部案内」からもご覧いただけます。
詳しくは、<http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/commerce/index>

O B / O G Message

同期に同じゼミの仲間が5人。
競い合い、励まし合って
今でも良きライバルです

東京国税局大月税務署 勤務(国税専門官)

佐々木 俊祐 2006年卒業 北海道立旭川北高校出身

国家公務員のなかでも「税のスペシャリスト」と呼ばれる国税専門官。高い専門性が必要とされる仕事です。大学で学んだ実践的な知識を、さまざまな事例に活用しています。税金は国家をつくる基盤。日本を担う仕事をしているという誇りを持って、仕事に取り組む毎日です。

受験生の皆さんへ 中央大学商学部では自分の興味のある分野を選んで学ぶことができます。国税専門官をめざしていた私は、租税に関する授業を多く受講しました。自主的な学びを通じて、将来のやりがいを探してみてください。



商業・貿易学科

激変するグローバルなビジネスの現場での確な判断を下し、行動できる力を伸ばす。

■ 学生の一日



社会に直結する 実践的な学びで グローバル化に対応

今井 めぐみ

商業・貿易学科フレックス・コース3年
山梨県立甲府南高校 出身

» 一週間のカリキュラム (3年次前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1限			生命環境学		消費者行動論I	
2限	グローバル マーケティング論			技術論I	貿易システム論I	
3限				確率論II		演習I
4限				損害保険論I		商品学I
5限				物質科学I		
6限						
7限						

» 一日のスケジュール (金曜日のカリキュラム)

7:00	起床	
9:00	消費者行動論I 貿易システム論I ①3限のゼミ発表の資料作りに集中 ②「演習1」準備のかいあって 発表は無事終了!	
12:00	商品学I	
15:00	③放課後もゼミのグループワーク。 時間を忘れるほど議論が白熱	
18:00	就寝	
0:00		

高校時代、カナダのバンクーバーに留学。「英語が話せるだけでは世界に通用しない」と気づかせてくれる良い経験となりました。そして、将来につながる大学生活を送りたい、社会に直結する学問を実践的に学びたいと思うようになったんです。急速なグローバル化に伴って、海外との商取引、貿易が今後さらに重視されるだろうと考えて、商業・貿易学科を選びました。

ゼミでは流通・マーケティングの研究をしています。昔はモノをつければ売れる時代でしたが、今はモノが飽和している状態。いかに製品やサービスを売るかの戦略がとても重要だということを、研究を通じて実感しています。

将来は社会に貢献できる仕事がしたいと考えています。マーケティングを深く学ぶことによって、具体的な進路も定まってきたました。クリエイントと一緒にになって、企業の悩みを解決する経営コンサルタントになりたいと考えています。

■ 商業・貿易学科カリキュラム (抜粋)

学 年	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	履修方法および卒業必要単位
セメスター	第1・第2	第3・第4	第5・第6	第7・第8	
基礎科目		マクロ経済学 ミクロ経済学			4単位必修
	経済学 経営学 講記論 金融論				
	基礎数学 線形代数 確率論 解析学 応用解析学	確率論			12単位必修
	社会学 統計学 情報処理概論				
基本科目	流通論 マーケティング論	貿易論			12単位必修
	流通・マーケティング科目	商業史 消費者行動論 商業経営論 マーケティング・リサーチ	広告論 商品学 サービス・マーケティング論 物的流通論 流通政策論 比較マーケティング論		
国際貿易科目	ビジネス英語 (貿易英語入門)	ビジネス英語 (ビジネス・コミュニケーション) ビジネス英語 (貿易英語上級) 国際商務論	グローバル・マーケティング論 貿易システム論 損害保険論 アメリカ経済論 EU経済論 中国経済論 東南アジア経済論 ロシア経済論 国際物流論		32単位必修 ^①
プログラム科目 ^②	アカウンタント・プログラム ビジネス・コミュニケーション・プログラム ビジネス・イノベーション・プログラム	プログラム講義Ⅱ プログラム演習Ⅰ・Ⅱ プログラム講義Ⅳ プログラム演習Ⅳ プログラム講義V プログラム演習V			
金融スペシャリスト・プログラム	金融スペシャリスト・プログラム	プログラム講義Ⅵ ^② プログラム演習VI			
インターンシップ科目	インターンシップ入門	インターンシップ実習 学部共通インターンシップ			
経済・法律科目	経済史 経済地理 法と社会 法と市民 法と企業	日本経済論 社会心理学 計量経済モデル 計量経済学の分析法 会社法 税法 民法総論 物権法 契約法	財政学 社会思想史 景気変動論 企業経済学 進化経済学 統計理論 企業評論 独占禁止法 知的財産法 労働法 法学特講		12単位必修
関連科目		経営史 経営科学 経営管理論 会計システム (取引処理) 企業経営と会計	会計システム (分析管理) 財務会計論 連結会計論 原価計算論 管理会計論 銀行論 保険学 ファイナンス論	多国籍企業論 スモールビジネス論 経営組織論 経営社会学 日本経営論 経営戦略論 マーケティング管理論 貿易管理論 労務管理論 生産管理論 経営情報論 情報資源管理論 情報システム入門論 情報セキュリティ論 情報科学特論 企業結合会計論 業績評価会計論 英文会計論 監査論 税務会計論 戰略会計論経営分析論 企業評論 コスト・マネジメント	
演習科目	ベースック演習A・B 情報処理演習	課題演習	演習I 演習II/演習論文	企業金融論 証券投資論 生命保険論 証券市場論 金融政策論 国際金融論 デリバティブ論 特殊講義 外国書講読 (英)(独)(中)(西)(露)(朝) 外国書講読 (英)(独)(中)(西)(露)(朝)	

*1 ただし、フレックスPlus1・コースのプログラム履修者については、16単位を限度にプログラム科目で修得した単位を基本科目に含めることができます (必修科目は除く)

*2 プログラム講義VIは1年次配当科目です

*3 上記のはか、カリキュラムには総合人間科目、学部間共通科目、外国語科目（第一外国語・第二外国語）、健康・スポーツ科目、学部・大学院共通科目等が含まれます

全体カリキュラムについては、中央大学商学部公式HPの「学部案内」からもご覧いただけます。

詳しくは、<http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/commerce/index>

O B / O G Message

本気で学べる環境があります。
論理的な思考と相手に伝わる
表現力が身に付きました

日本電気株式会社 勤務

中蘭 碧 2009年卒業 私立中央大学高校(東京都)出身

企業向けに情報活用システムを提案するのが私の仕事です。膨大なデータを、いかに分析して有効に活用するかのコンサルティングを行っています。ゼミのディスカッションで、筋道を立てて物事を考え、自分の言葉で表現する訓練をしたことが、説得力のある提案をするのに役立っていると感じています。

受験生の皆さんへ

大学で一番の思い出はゼミ活動です。毎週、英語の論文を読むなど課題が多く、勉強はハードでしたが学びに没頭した貴重な経験でした。ゼミの仲間とは卒業後も交流があり、社会で活躍する姿に刺激を受けています。



高校時代、カナダのバンクーバーに留学。「英語が話せるだけでは世界に通用しない」と気づかせてくれる良い経験となりました。そして、将来につながる大学生活を送りたい、社会に直結する学問を実践的に学びたいと思うようになったんです。急速なグローバル化に伴って、海外との商取引、貿易が今後さらに重視されるだろうと考えて、商業・貿易学科を選びました。

ゼミでは流通・マーケティングの研究をしています。昔はモノをつければ売れる時代でしたが、今はモノが飽和している状態。いかに製品やサービスを売るかの戦略がとても重要だということを、研究を通じて実感しています。

将来は社会に貢献できる仕事がしたいと考えています。マーケティングを深く学ぶことによって、具体的な進路も定まってきたました。クリエイントと一緒にになって、企業の悩みを解決する経営コンサルタントになりたいと考えています。

金融学科

国内で数少ない金融を専門に学ぶ学科で、お金についての知識と能力を磨く。

■ 学生の一日



経済の根幹を成す「金融」
専門的に学びながら
幅広い知識も
身につけられます

和田 健太

金融学科3年
神奈川県立大和高校 出身

テレビや新聞のニュースを見ているうちに、経済の根幹を成しているのは「お金の流れ」だということに気づきました。すべての経済活動に関係する「金融」を専門的に学びたいと思い、金融学科のある商学部に進学しました。

私は1・2年次に金融の基本を中心に学び、3年次からは金融を専門的に掘り下げながら、幅広い知識を身につけるために経済学も受講。興味のある授業を組み合わせて履修できるのも、商学部の大きな魅力です。

授業は具体的な事例を用いたケーススタディを行うことが多く、理論だけでなく実証できるところにおもしろさを感じます。最近ではサブプライムローン問題を取り上げ、あらゆる仮説を立てて検証を行いました。金融は世界のさまざまな事象に関連しており、学ぶほどに興味はふくらんでいます。今後は、日本と世界の金融を支える仕組みについてより深く考察し、将来の仕事にも生かしたいと思っています。

» 一週間のカリキュラム (3年次前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1限					消費者行動論I	
2限		証券投資論I			多国籍企業論I	
3限		金融政策論I			日本金融論I	
4限			損害保険論I		商品学I	
5限					アメリカ経済論I	
6限	演習I					
7限						

» 一日のスケジュール (火曜日のカリキュラム)

7:00	起床	
9:00	①「演習1」ゼミの準備のために図書館で勉強 証券投資論I	
12:00	②商学部ゼミナール連合会に所属。 昼休みも部室に顔を出す 金融政策論I	
15:00	③放課後は商ゼミ連の活動。 仲間たちとイベント企画	
18:00		
21:00	就寝	
0:00		

■ 金融学科カリキュラム (抜粋)

学 年	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	(2011 年度入学生の例)
セメスター	第1・第2	第3・第4	第5・第6	第7・第8	履修方法および卒業必要単位
基礎科目		マクロ経済学 ミクロ経済学			4 単位必修
	経済学 経営学 記論 金融論				
	基礎数学 線形代数 確率論 解析学 応用解析学	確率論			12 単位必修
	社会学 統計学 情報処理概論				
共通基礎科目	金融論	銀行論 保険学 ファイナンス論			16 単位必修
基礎科目	コーポレートファイナンス&インベストメント		企業金融論 証券投資論 証券市場論 デリバティブ論		32 単位必修
	マーケティング		金融政策論 生命保険論 損害保険論 国際金融論 日本金融論	16 単位必修	32 単位必修
プログラム科目 ^{※1}	アカウンタント・プログラム ビジネス・コミュニケーション・プログラム ビジネス・ノーベーション・プログラム 金融スペシャリスト・プログラム	プログラム講義II プログラム演習I・II プログラム講義IV プログラム演習III・IV プログラム講義V プログラム演習V プログラム講義VI ^{※2} プログラム演習VI			
インターンシップ科目	インターンシップ入門	インターンシップ実習 学部共通インターンシップ			
経済・法律科目	経済史 経済地理 法と社会 法と市民 法と企業	日本経済論 社会心理学 景気変動論 アメリカ経済論 計量経済モデル 計量経済学の分析法 国際関係論 民法論 物権法 契約法 会社法 税法	財政学 社会思想史 財政学 統計理論 東U経済論 中国経済論 企業経済学 東南アジア経済論 ロシア経済論 企業法務論 独占禁止法 知的財産法 労働法 法学特講		12 単位必修
関連科目		経営史 経営科学 経営管理論 会計システム(分析管理) 財務会計論 原価計算論 連結会計論 管理会計論	多国籍企業論 スモールビジネス論 経営組織論 経営社会学 日本経営論 経営戦略論 マーケティング管理論 財務管理論 労務管理論 生産管理論 経営情報論 情報資源管理論 情報システム設計論 情報セキュリティ論 情報科学特論		
演習科目	ペーチック演習A・B 情報処理演習	会計システム(分析管理) 財務会計論 原価計算論 連結会計論 管理会計論 マーケティング論 消費者行動論 商業経営論 貿易論 商業史 ビジネス英語(ビジネス・コミュニケーション) ビジネス英語(貿易英語入門) 国際商務論	企業結合会計論 業績評価会計論 英文会計論 監査論 税務会計論 戦略会計論 経営分析論 企業評議論 コスト・マネジメント 広告論 商品学 グローバル・マーケティング論 マーケティング論 貿易システム論 物的流通論 ビジネス英語(ビジネス・コミュニケーション) ビジネス英語(貿易英語入門) 国際商務論	特殊講義 外国書講読(英)(独)(仏)(中)(西)(露)(朝) 外国書講読(英)(独)(仏)(中)(西)(露)(朝)	
		ペーチック演習I 課題演習	演習I 演習II／演習論文		

※1 ただし、フレックスPlusI・コースのプログラム履修者については、16 単位を限度にプログラム科目で修得した単位を基本科目に含めることができます（必修科目は除く）

※2 プログラム講義VIは1年次配当科目です

※3 上記のほか、カリキュラムには総合人間科目、学部間共通科目、外国語科目（第一外国語・第二外国語）、健康・スポーツ科目、学部・大学院共通科目等が含まれます

全体カリキュラムについては、中央大学商学部公式 HP の「学部案内」からもご覧いただけます。

詳しくは、<http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/commerce/index>

O B / O G Message

勉強は好きじゃなかったはずなのに。
指導熱心な先生と出会い
金融への興味がぐっと深まりました

株式会社日本政策金融公庫中小企業事業本部 勤務

鈴木 広敬 2003年卒業 東京都立八王子東高校 出身

学部生時代は「金融論」を中心に勉強し、大学院では「国際金融論」を研究しました。国の政策に基づいて中小企業の資金調達を支援するのが今の私の仕事です。商学部の魅力は理論と実践の両面から学べること。学間に裏付けられた知識は、顧客からの信用にもつながっています。

受験生の皆さんへ
大学生活の過ごし方は卒業後の人生に大きく影響します。授業時間以外にも勉強会を開いてくれる熱心な先生と出会い、学びの意欲が湧いて大学院に進学しました。社会に出る前の貴重な4年間、有意義に過ごしてもらいたいと思います。



自由な学び

皆さんは進学を考えた時、夢やあこがれ、または世の中のさまざまなことに興味をもち、希望に合った大学を選ぶと思います。商学部では、すでに目標のある方だけでなく、これからゆっくり目標を見つけていきたい人にとっても、自分に合わせた大学での学び方を選択できます。

■ フリーメジャー・コース（学科自由選択）

入学前に志望学部は決まっても学科を選ぶのは難しい、という声をよく耳にします。商学部独自のフリーメジャー・コースは、入学後1年間で各学科の魅力を知ってもらう“情報収集期間”とし、2年生になるときに学科が自由に選べるという制度です。1年かけて自分の興味や目標をじっくりさがしてみてはいかがでしょうか。

Interview

どの学科にしようか？ — 学科選びで迷っている方、慎重に決めたい方は、フリーメジャー・コースへどうぞ

御船 洋 教授 財政学 担当

商学部には経営、会計、商業・貿易、金融の4つの学科がありますが、皆さんの中には「4つのうちどの学科を選ぶべきか？」で迷う方が結構いらっしゃるのではないかでしょうか。そういう方にぴったりなのがフリーメジャー・コースです。本コースは、入学後1年間をかけて4学科を比較検討し、正式の所属学科を2年進級時に決定するという制度です。フリーメジャー・コースで入学すると、総合講座「商学部メジャー探検講座」において、4学科それぞれの魅力を担当教授から直接聞くことができ、学科の選択に役立つか、多面的な知識が身に付きます。

学びながら、じっくり将来について考えられる

海老沼 健太 会計学科フレックス Plus1・コース3年 私立桐朋高校（東京都）出身

高校時代は受験勉強に精一杯で、商学部を志望したものの学科まで選ぶ余裕がなかったんです。だから、入学後に実際に学びながら、所属学科を決められる「フリーメジャー・コース」を選びました。「商学部メジャー探検講座」では、各学科の先生がリレー方式で授業を行い、学びの内容をレクチャーしてくれます。私は会計学に興味を持ち、将来は税理士として独立するという具体的なビジョンを持つようになりました。時間をかけて自分自身と向き合い、将来について考える良い機会になったとも思っています。

■ 自由選択枠

入学後は所属する学科の専門科目の必修単位を取得していくますが、商学部では他の学科の興味ある科目も自由に選択することができます（各ゼミナールについても学科に関わりなく履修が可能）。さらに、法学や文学など広い分野を学べるよう「他学部履修制度」が設けられ、一部の科目を除き30単位まで、他学部開講科目やFLP科目（学部を超えて興味ある分野を専門的に学べるプログラム）を学べます。自由選択枠を上手に利用すれば、教養を広げるだけでなく、より目的を絞り込んだ充実したカリキュラムとなります。

※1年次ごとの履修上限は40単位
※他学部履修は年次ごとに履修できる授業は異なる場合があります

» 例：ベンチャー志向があり、語学や国際貿易、NPO活動などに興味がある学生の場合



■ 留学

本学では、目的に応じた3つの留学制度とサポートがあります。語学の学習成果を試すチャンスだけでなく、グローバルな視野を広げるためにも活用してください。商学部独自の給付奨学金（チャレンジ・スカラシップ）や留学期間中の学費減免制度などもあります。

※チャレンジ・スカラシップについてはP.16を参照ください。

短期留学

本学協定校へ夏期休暇中の1ヵ月を利用した語学留学です。準備過程としての春学期授業を受講する必要があります。本学教員が同行しますので、はじめて留学する方にも安心なプログラムです。

交換留学

本学交換留学協定校へ1年間留学する制度です。留学先での修得単位を本学の単位とすることができる、留学先の学費は原則免除（一部の大学を除く）されます。協定関係上、留学に関する手続きが軽減されています。

認定留学

本学が許可した大学へ1年間留学する制度です。留学先での修得単位を本学の単位とすることができます。自身で留学先を選択できますが、留学に関する手続きはご自身で行う必要があります。

Interview

世界各国の学生とふれあい、人間的にも成長できた

河合 亮介 経営学科フレックス Plus1・コース4年 広島県立広島井口高校 出身

ビジネスの本場アメリカで、経営とマーケティングを勉強するために、交換留学制度を利用してイリノイ州立大学に留学しました。授業の予習・復習に追われる毎日でしたが、多様なバックグラウンドや考え方を持つ学生たちとの交流で、視野を広げることができたと思っています。将来は海外で働きたいという意思も固まり、総合商社に内定。交換留学は社会に出て行くうえでの自信につながるかけがえのない体験でした。



■ 早期卒業制度

卒業後、大学院または専門職大学院（アカウンティングスクール、ロースクールなど）への進学を条件に、「早期卒業制度（3年次で卒業）」を設けています。定める卒業単位を優秀な成績で修得することが必要となります。一般の学生よりいち早く研究や国家資格を目的に、専門分野の学びを意欲的に進めることのできる制度です。

Interview

短期間でより専門的な知識が身につけられる

堀越 大祐 経営学科フレックス Plus1・コース早期卒業／中央大学大学院商学研究科商学専攻博士前期課程2年 埼玉県立川越高校 出身 2009年度公認会計士試験合格

近年、公認会計士試験の合格者が増加しています。その中でも差別化を図るために、より専門性の高い知識を身につけようと大学院進学をめざしました。早期卒業制度は3年間で学部を卒業でき、通常より1年早く社会に出られるのが魅力です。現在、大学院では将来の実務に役立つであろう、国際的な会計基準であるIFRS（国際財務報告基準）など、会計の最前線を研究しています。急速なグローバル化に伴い、拡大する会計監査の領域で、公認会計士として活躍したいと思っています。



交換留学実績

東テネシー州立大学（アメリカ）
イリノイ州立大学（アメリカ）
ベネディクトイン大学（アメリカ）
カーディフ大学（イギリス）
ストラスブル大学〔旧 ローベル・シューマン大学〕（フランス）
エクス・マルセイユ第3大学（フランス）
延世大学（韓国）
梨花女子大学（韓国）
中山大学（中国）など

認定留学実績

マドリード・コンブルテンセ大学（スペイン）
カリフォルニア州立大学チコ校（アメリカ）
カリフォルニア州立大学アーバイン校（アメリカ）など

学びを支える

学びを支えることは、学生になった皆さんの優れた面を伸ばす環境を提供することです。

商学部では、経済的なサポートをはじめ、資格取得、留学・起業準備などの目的に合わせた奨学金や、進路別にそれぞれのビジネススキルを養う専門的授業を用意しています。

■ 出願時に申込ができる奨学金

フレックス PlusI・スカラシップ

フレックス PlusI・コースへの進学を第一志望とする方を対象に、授業料の半額相当額を4年間支給する奨学金です。

- 出願条件・出願方法
商学部各学科フレックス PlusI・コースへの入学を第一志望とする者
出願時に、所定のエントリーシートを提出してください。
- 申込可能な入試
・一般入試
・大学入試センター試験利用入試単独方式（前期選考・後期選考）
・大学入試センター試験利用入試併用方式
・特別入試
※「大学入試センター試験利用単独方式（前期選考）」については、「一般入試」と同時に出願していることが条件となります。
- 給付金額
1~4年次：授業料の半額相当額
※採用者は原則として4年間給付しますが、毎年度、学業成績審査と面接を行い、その結果によっては給付が継続できないこともあります。
(4年間の総額は約141万円)。
- 採用人数
50名程度

■ プログラム科目

プログラム科目は、職業会計人やビジネス英語などに必要な資格取得、ITビジネス・金融ビジネスの技能習得に興味のある学生に向けて開講しています。実践的学习に力点がおかれ、少人数のクラス編成授業で、皆さんのがめざす進路を大学の授業でもバックアップします。

※対象は主にフレックス PlusI・コースの学生となります、履修人数によっては、フレックス・コースの方も履修可能です。

◎ アカウンタント・プログラム

2年次より

公認会計士、税理士、国税専門官になりたい

商学教育に関わる公的資格のなかでも、公認会計士、税理士、国税専門官をめざす皆さんに向けたプログラムです。授業内容はいずれも基礎を重視したうえで、各専門職の職務について理解を深めることを目的としています。科目ごとに論理的な「講義」と実習的な「演習」を組み合わせて、実力を高めていきます。

会計学関係

- 財務会計論—基礎理論A（講義・演習）
- 財務会計論—基礎理論B（講義・演習）
- 財務会計論—特論（講義・演習）
- 監査論（講義・演習）
- 管理会計論—特論（講義・演習）

民法・商法関係

- 企業法（講義・演習）
- 民法—総則・物件・債権（講義・演習）
- 相続税法（講義） 消費税法（講義）
- 租税法（演習） 法人税法（演習）
- 経済学（講義・演習）

税法関係

経済関係

■ 在学中（2~4年次）にエントリーできる奨学金

エントリー・スカラシップ

がんばる商学部生を経済的にサポートするために、学業成績と目的意識を重視した給付奨学金制度を設けています。学内外で何かにチャレンジしようとする具体的な活動計画の支援を目的とした「チャレンジ・スカラシップ」では、これまでに公認会計士試験合格、海外チャイルドケアボランティアや海外広告コンペティション参加、観光地での外国人向け英語ガイド、カフェ経営、着物ショップ運営等の計画に奨学金を給付し、つぎつぎと夢が実現されています。

名称	給付金額	給付期間	対象	募集人数
チャレンジ・スカラシップ	プロフェッショナル・プラン	20万円*	公認会計士や税理士などの資格試験合格を目指している、公務員、研究者を志望しているといった、目標の実現に向けて専門的知識を高める具体的な活動計画を立てている学生 海外における具体的な活動計画（長期・短期留学、インターンシップ、学術調査、専門スキルアップ、ボランティア等）を立てている学生 学内外における具体的な活動計画（社会文化活動、ベンチャービジネス構想準備等）を立てている学生 意欲があるにもかかわらず、経済的事情により本学で学業を継続していく事に多大な支障が生じている学生 修得単位が年次別最高履修単位の90%以上で、特に学力・人物とともに優れ、学業面において卓越した成果を収めており、さらなる学業成果が期待できる学生	各プラン合計 30名程度
	オーパーサーズ・プラン	30万円*		
	アクティブ・プラン	1年間		
	セルフサポート・スカラシップ			
エクセレンス・スカラシップ	20万円			30名程度

*チャレンジ・スカラシップは提出書類および面接による選考の結果、50万円を上限として給付する場合があります

※各スカラシップとも商学部の2~4年次に在学している事が条件となります

Interview

カナダでのボランティアでフェアトレードを調査

宮内 里奈 商業・貿易学科フレックス・コース3年 茨城県立水戸第一高校 出身

中学時代から世界の貧困問題に興味を持っていました。国によって生活レベルが異なり、状況が改善されない理由を学ぶため、3年次の夏にはチャレンジ・スカラシップを利用してカナダへ。パンクーバーのフェアトレード店でボランティア活動を行い、フェアトレードがどの程度浸透しているのかを調査しました。一番の成果は「一方的な援助ではなく、先進国とのビジネスによって貧困問題の解決に取り組むのが現実的だとわかったこと。新たにBOPビジネス（利益追求とともに低所得層の生活改善を目指すビジネス）に興味を持つきっかけとなる有意義な経験でした。



◎ ビジネス・イノベーション・プログラム

2年次より

ITを活用して企業の経営戦略を考える

情報技術（IT）を駆使して企業内外の情報を獲得・処理・発信し、企業のあらゆる場で合理的に判断できる企業人の育成に向けたプログラムです。「情報技術分野」は、ITそのものに関連し、このプログラムの基礎力となる知識とスキルを養成しています。「情報活用分野」では実際のビジネスへの応用を想定して、「ITと経営戦略」「ITと組織」「ITと意思決定」という3つの側面について各2科目（それぞれの科目は講義と実習で構成しているため合計4科目ずつ）開講しています。

情報技術分野

- 情報ネットワーク論（講義・演習）
- 情報セキュリティ技術論（演習）
- ビジネス・プレゼンテーション（演習）
- ビジネスとマルチメディア（演習）

情報活用分野

- ITと経営戦略 - eコマース論 ベンチャービジネス論（講義・演習）
- ITと組織 - ITと組織開発 ビジネスデザイン論（講義・演習）
- ITと意思決定 - ビジネス・ゲーム 財務分析論（講義・演習）

◎ 金融スペシャリスト・プログラム

1年次より

ファイナンスに特化したスペシャリストをめざす

「ファイナンシャル・プランナー」や「証券アナリスト」に興味のある学生を対象に、資格試験対策だけでなく、経済や企業の分析力や不動産・証券の資産運用など社会で役立つ専門知識の習得をめざした科目群を開講しています。

講義科目

- ファイナンシャルプランニング概論
- 不動産総論 相続税法

演習科目

- 法人税法 財務分析演習
- 証券分析演習 経済分析演習

学びを深める(ゼミナール)

商学部では、学生の主体性を重視したゼミナール(演習)を全年次に取り入れています。各ゼミの人数は15名程度。1年次では高校から大学、2年次では3年次から始まる専門演習への橋渡しとして、人文・自然・社会科学の幅広い分野の教養と大学生活に必要な学修技法などの基礎能力を養います。3・4年次では専門分野における特定テーマについて研究し、「大学での学びの結実」をじっくり時間をかけて導いていきます。

■ ゼミナール履修の流れ

A ベー
..通年
シック
B 演習
..半期
A
B

課題演習
2年次

演習I
3年次

演習II
演習論文
4年次

ベーシック演習(1年次)

想像力や表現力、自分の考えを伝える力が身につく

高校の学習から大学における学習へスムーズに移行し、より高次の学部教育へつながるように、論理的思考能力と双方向のコミュニケーション能力、および文章表現能力を育成します。問題を発見し、文献(資料)その他の情報を収集して分析を行うなどの基礎的な学修作法を身につける講座であるベーシック演習は、学生と学生、学生と教員との相互交流の機会を提供し、大学生活を有意義なものへと導きます。

- » 2011年度「ベーシック演習A・B」(ゼミ)テーマ ※抜粋
- 日本における企業・仕事・生活の半世紀—何が変化したのか?
 - 消費者を振り向かせる広告コピー研究
 - ソーシャル・マーケティング—
地球環境・商品の安全問題と企業戦略
 - 会計って何?公認会計士って何をするの?
 - トピックス討議—『雑誌』のなかに現在(いま)を読む—
 - 株価を通して企業・経済を学ぶ
 - 人間の心理とマネジメント—一人の幸せのためにマネジメントと『会計』はいかに役立つかを考える—

課題演習(2年次)

専門分野の基礎的知識や文化・芸術・文学に関する教養を深めるゼミ

1年次に学んだ導入教育(ベーシック演習A・B)から3年次に学ぶ専門演習への橋渡しのための少人数教育科目となります。特定のテーマについて問題を発見し、資料を収集・分析し、文章にまとめ、発表とディスカッションを通じて専門的な学習を準備・補完する基礎知識および学修技法を身につける講座です。課題演習も、学生と学生、学生と教員との相互交流の機会を提供し、大学生活を有意義なものへと導きます。

- » 2011年度「課題演習」(ゼミ)テーマ ※抜粋
- 戦後日本社会について考える
 - 会計法規集を読みながら会計学の基本を学ぶ
 - 電子マネーはどこまで進化するか
 - 生命と環境
 - 経営数字やデータから企業を見る
 - 広告表現研究: 買いたい気持ちに火をつける「コピーライティング」
 - 東アジアの金融—市民参加型の金融システム
 - 中華圏ビジネスの基礎
 - 基礎的な情報収集能力・コミュニケーション能力を身につける

演習(3年次~)

経営、金融から自然科学・人文科学科目まで、ゼミのテーマは充実しています

演習(専門ゼミ)は大学における学修のハイライトであり、4年間の集大成を示す場でもあります。卒業するだけでなく、「大学で何を学んだか」が問われる時代となっていますが、どのようなテーマの専門ゼミに属し、そこで何を学んだかは、皆さんの事実上の専攻分野を表すことになり、「大学で何を学んだか」という問い合わせに対する答えに直結します。また、専門ゼミでの学習は、卒業後社会人・職業人としてさらに成長し、活躍していく際の貴重な出発点(土台)となるべきものもあります。

- » 2011年度「演習I」(ゼミ)テーマ ※抜粋
- 商業・市場・都市の歴史的変遷に関する研究
 - 学校・企業・仕事・技能・資格—国際比較の視点から—
 - 財務会計理論の研究
 - 国際会計基準の研究(米国会計基準との収斂を中心に)
 - 現代における流通・マーケティングの転換と展望
 - グローバリズムの行方を考える—国際政治経済学からのアプローチ—
 - Business English and International Trade Practices:
A Passport to being an International Business Communicator
 - 金融論入門—家計と企業を結ぶ金融・資本市場—

■ 三浦 俊彦ゼミ: マーケティングと消費者行動

未来は貴君の手の中にある

三浦 俊彦 教授 マーケティング論・消費者行動論 担当

三浦ゼミでは、まず2年生ゼミで世界で一番読まれている『コトラーのマーケティング・マネジメント』を読破し、3年生はその理論的基礎の上に、実際の企業のケーススタディ、工場見学や企業プレゼン、また電通論文またはインナーハウスという論文大会にチームで挑戦します。そして4年生ではそれらの集大成として卒業論文を作成します。ただ、それらを生き残る手段でも貴君次第です。まさに未来は貴君の手の中にあるのです。



活発な意見交換で思考をブラッシュアップ

吉野 衆人 経営学科フレックス Plus1コース3年 私立中央大学附属高校(東京都)出身

三浦ゼミでは、少人数のグループに分かれて、実際に存在する企業のマーケティング戦略について研究しています。ほかのゼミ生の意見に耳を傾けることで、1つの物事に対しても多様な考え方があることに気づき、議論を重ねるうちに新たな発見が。テーマに沿ったプレゼンテーションを行うインナーハウスに参加するなど、自主的な活動も行っています。ゼミは高校で行う一般的な授業と違って、各自で考え、意見をぶつけ合うことのできる貴重な学びの場です。



■ 市村 誠ゼミ: 企業分析—企業財務、企業戦略、コーポレート・ガバナンスに関する研究—

ゼミナールこそが大学での学びの醍醐味

市村 誠 准教授 財務管理論 担当

市村ゼミの企業分析研究にはあらかじめ定められた正解はありません。様々な文献を読み、実際に企業を訪問し、アンケートや市場調査を行い、また財務データを分析し、自分で立てた仮説を検証し結論を導きます。研究発表では、結論自体よりも「なぜ、どのようにその結論を導き出したのか?」が重視されます。他のゼミ員や教員に対し説得力を持つ研究となるか否かのカギは、「なぜ」や「どのように」を導き出すプロセスを緻密に積み上げてきたかどうかです。それを学べる場がゼミナールでありグループワークなのです。皆さんも是非ゼミナールに入り大学での学びの醍醐味を味わってください。



さまざまなアプローチから企業を分析

仲田 嶽 会計学科フレックス・コース3年 山梨県立韮崎高校 出身

将来は公認会計士として監査業務の経験を積んでから、企業のコンサルティングも手がけたいと考えています。そのためにも企業を多面的に分析する力を身につけていこうと考え、市村ゼミを選びました。ゼミではケーススタディとして実在する企業について、さまざまな角度から分析していきます。春と夏、2回の合宿では研究の成果を発表。グループワークで研究を進めるのもゼミならではの特徴です。ゼミで知り合った仲間は、お互いに刺激を与えあう関係。よい友人ができました。



学びを深める(中央大学経理研究所)

中央大学経理研究所では、公認会計士などの職業会計人や会計職をめざす学生のために

資格取得を目的にしたセミナー・講座を開設し、それぞれ毎年多数の合格者を生み出しています。

学習面では、本学出身の現役公認会計士 10 名の専任講師と多数の現役学生合格者が個別指導で受験者をバックアップ。

また指導だけでなく、学内のダブルスクールだからこそ実現できる、「安価で提供できる体制」は他大学にはない大きな特徴です。

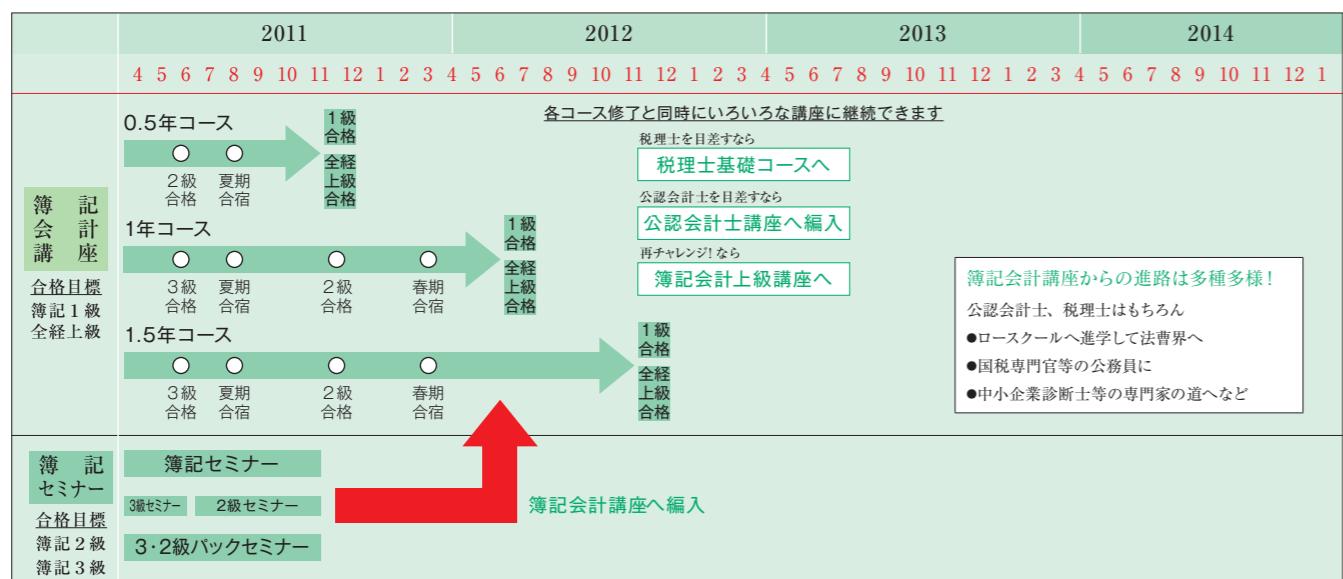
■ 現役合格カリキュラム

簿記会計講座・簿記セミナー／簿記会計上級講座

会計職の基本となる、日商簿記・全経簿記の資格取得をめざした 2 つの講座を用意しています。さらに公認会計士をめざす方には引き続き、短答式試験学習にも対応している「簿記会計上級講座」が受講できます(講座の途中で「公認会計士講座」への編入が可能です)。

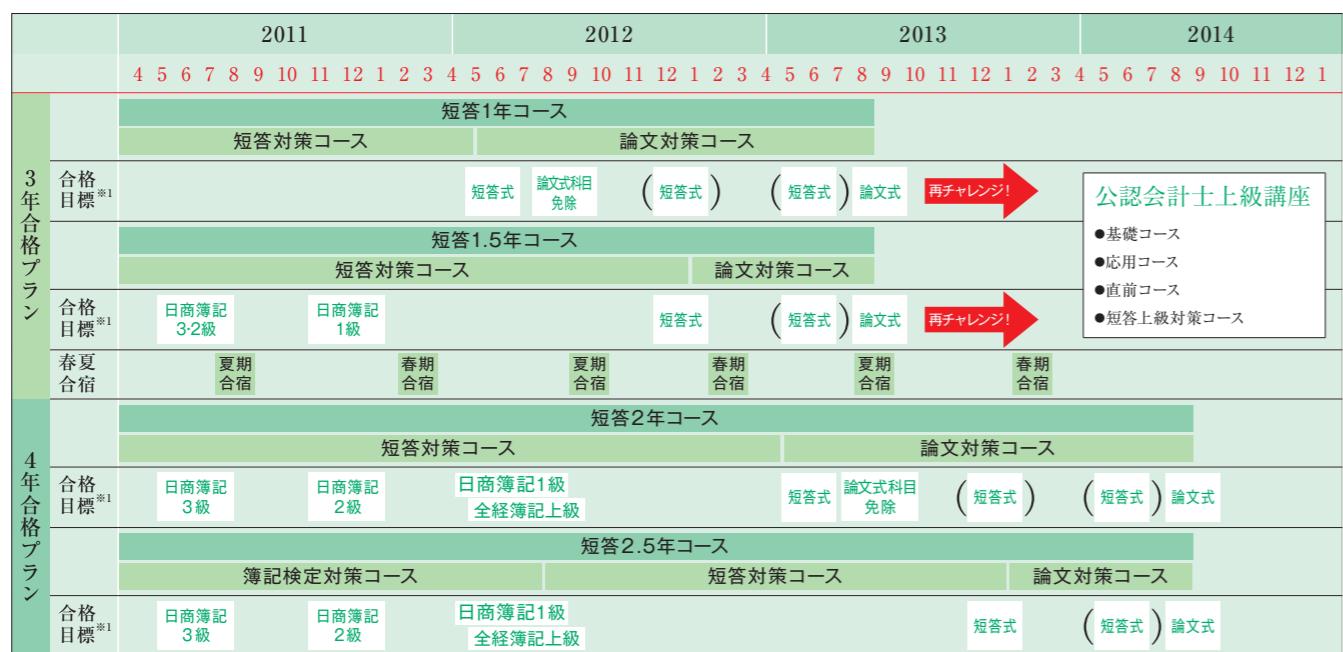
税理士基礎コース

「簿記会計講座」受講修了者を対象としたコースで、社会人合格を目指に、在学時に税理士試験の基礎となる会計 2 科目(「簿記論」「財務諸表論」)の合格をめざすものです。



公認会計士講座／公認会計士上級講座

「公認会計士講座」は、公認会計士試験合格をめざし、短答式試験の合格目標別に 4 つのコースを用意しています。また短答式合格者と「公認会計士講座受講者」を対象に、個別指導に重点を置き次年度の論文式試験合格を目指す「公認会計士上級講座」もあります。



*1 短答式試験の実施は年 2 回。目標の論文式試験合格までに複数回のチャンスがあります。

経理研究所の学びについて

眺める花は、“マリーゴールド”、それとも、“こまくさ”？

木島 淑孝 教授
経理研究所長

あなたは山に登ろうとしている。そこに山があるから。あなたの前には、高い山と低い山がある。平地もある。あなたは、より高い山に挑む。あなたは若人だから。普段見ることのない花の色を求めるから。より高い山の頂に届くには、より大きな辛苦を伴う。にもかかわらず挑む。畏縮を知らない若者だから。経理研究所での勉強は課外活動。辛苦を厭うなら選ぶことはない。いま、あなたはその頂に続く道を選択する。アイスクリームを舐めながら公園でマリーゴールドを眺めて4年を過ごすか、山頂に咲く“こまくさ”を求めて山道を歩くか。選択するのは、あなた。



受講生の声

学ぶうちに見つかった。将来の目標

小峰 さなえ
商業・貿易学科フレックス・コース2年 東京都立八王子東高校 出身

公務員志望でしたが、一般企業の就職にも有利だと聞いて日商簿記検定 1 級の資格取得のために簿記会計講座を受講することに。専門学校と比べて受講料が安く、通学時間がかかるのも魅力でした。国家試験に挑戦する学生のための施設「炎の塔」は、自習に利用できるほか、質問コーナーで疑問をすぐに解決することができます。進路について悩んでいましたが、スタッフの方たちのアドバイスもあって将来の目標も定まってきた。現在は公認会計士をめざして勉強中です。



学生スタッフ(現役学生合格者)紹介

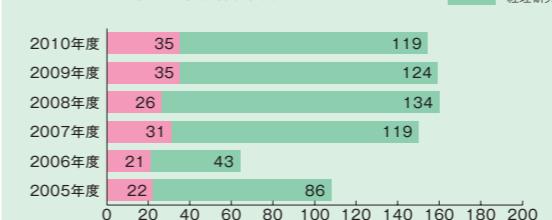
同じ目標に向かう仲間と充実した施設が、合格を後押ししてくれた
寺田 純也

商業・貿易学科フレックス・コース4年 静岡県立浜松北高校 出身
2010年度公認会計士試験合格者

中央大学 OB で公認会計士の兄に感化され、資格を取ろうと思いました。難関試験を目指す学生にとって本学の施設と環境は実に魅力的です。炎の塔に個人用机とロッカーを持つことができ、同じ目標に向かって励まし合い相談できる学友が多数います。兄の体験談には「少し時代が違う」と感じた私にも、息抜きの仕方・勉強のペース配分は大いに参考になりました。試験に集中していたので、合格後の長期的なキャリアを考える余裕はありませんでしたが、大手監査法人で実務を習得しつつ新たな目標を見つけています。



公認会計士合格者数



学内に設置された経理研究所は、毎年多くの公認会計士試験合格者を輩出しています。中でも中央大学の現役合格者では、経理研究所受講生が多くを占めます。商学部の場合、経理研究所のカリキュラムが授業の先取りとなるため、大学の授業と両立しながら理解を深めることができるという利点もあります。また、専門学校と比べて受講料が安価というのも魅力の一つ。経理研究所には、公認会計士試験合格をめざす学生が切磋琢磨できる環境が整っています。

キャリアをデザインする

自分自身の将来を創造する—。

「まだ早い」と思われるかもしれません、充実した大学生活になるほど、4年間はあつという間に過ぎていきます。

企業に就職か、国家試験に挑むか、それとも大学院進学?

これから始まる大学生活の中で多くの意見を聞き、学び、近い将来へのキャリアデザインに役立ててください。

■ 総合講座

総合的な知識を身につけ、時代のニーズをつかむ

時代が求めるニーズをテーマに専門分野と教養教育を相互に接合させた、総合的な基礎知識を身につける講座です。複数名の講師がそれぞれの専門分野において講義を行います。キャリアデザインのための道しるべとして積極的に受けてみてください。

» 過去の実績

- 素顔のヨーロッパ（ヨーロッパの魅力と実力の背景について日本や米国と対比しながら学ぶ）
- 働くこと入門（第一線の経営者の講義を通じ企業経営の特色を学ぶ）
- 起業家入門（ベンチャー経営者、関係者の講義を通して企業経営の特色を学ぶ）
- 深刻化する地球環境問題の経営・会計学（環境問題に対しての企業の具体的方策を検証）

「起業家入門」「働くこと入門」

第一線で活躍する起業家、経営者の生の声にふれ、就職活動に向けた大いなる第一歩を！

久保 知一 准教授 流通論 担当



生命科学を基盤とした出版物を発行する羊土社の一戸社長による講義

» 過去の講師実績

起業家入門

- 株式会社ノジマ代表執行役社長／エレコム株式会社代表取締役社長／株式会社ワーク・ライフバランス
- コンサルタント（創業メンバー）／株式会社オウケイウェイブ代表取締役社長／NPO 法人かものはしプロジェクト共同代表 など

働くこと入門

- 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 取締役副社長／三菱商事株式会社部長代理／JX 日鉛日石エネルギー株式会社 取締役副社長執行役員／株式会社羊土社代表取締役社長 など

■ 特殊講義

エキスパートからビジネスの現場を学ぶ

企業・団体からの協力を得て、各界の最前線で実務に携わるビジネスエキスパートによる講義が行われています。公認会計士が行う業務についての生の声や、リーダー企業の知的財産についての戦略など、経済の現状や産業の実態を映し出すビジネスの現場について学び知ることができます。将来の選択肢を決める前にいちばん現場を知りたい人におすすめです。

» 過去の実績

- キヤノンにおける知的財産実務（キヤノン株式会社協力講座）
- 証券ビジネス論（野村證券株式会社協力講座）
- 食品産業論（実務家などによる講座）
- 先端的マーケティング手法と企業変革（企業家による講座）
- 監査実務（公認会計士による講座）
- ベンチャー創業と進化の本質（経営コンサルタントによる講座）

■ インターンシップ

就業体験で、より明確なキャリアデザインを！

企業とはどのようなところなのか、どのように仕事が行われているのか、企業が求める能力・スキルはどのようなものなのか、などについて実際に就業体験をして学びます。商学部が行うインターンシップ先は、あえて大企業ではなく、中・小規模の企業、NPO、NGOとしています。これは、「企業の全貌をつかみやすい」こと、「1つの業務でなくさまざまな体験を積んでもらう」ことを目的としており、一般的なインターンシップとは大きく異なります。

» 過去の業種実績

採用コンサルティング、インターネットマーケティング、WEB ショップ総合支援サービス、美容・治療・リラクゼーション、留学情報提供サービス、動画プレゼンテーション制作、子供向け教育プログラム（NPO）、スポーツイベント等企画、総合不動産、保険代理店、インターネット写真販売、e ラーニング事業、税理士事務所、婚礼・ホテル事業

■ 大学院（商学研究科）

商学部の学びを深化させ、目的に合わせた専門職業人を育てる

中央大学大学院商学研究科の学びは、商学部の4学科「経営」「会計」「商業・貿易」「金融」に「経済」を加えた5つの専門分野で構成されています。授業では「商学部の4学科」をベースに授業科目が設定されており、商学部在学時からの専門分野をコアフィールドとしながら、同時に広い分野の科目履修を可能とするのが、商学研究科の大きな特徴です。

大学院では、主に修士・博士学位の取得を目指していますが、変遷する社会ニーズに合わせてコース制を導入。研究者育成と資格取得などを目的とした2コースが設定されています。

研究コース

将来大学教員や研究員をめざす方を対象として、博士後期課程へ進むこと（博士学位取得）を目標に、演習などの研究指導を中心とした総合的な能力の養成を行っています。

（博士学位取得では、複数教員からの指導により、論文のレベルアップと博士学位の取得の促進が図られています）

ビジネスコース

学部教育の「プラス・アルファ」として、公認会計士・税理士や企業経営に関わるビジネスパーソンなどそれに必要な専門的知識の習得を目的としています。

2009年度より実践的授業として、所属教員と学外実務家／研究者とのコラボレーション講義「ビジネス・プラティカル・ワークショップ」を開講しました。

（ビジネスコースでも修士・博士学位の取得は可能です）

» 詳細については、大学院ガイドブックをご覧ください

■ 専門職大学院（アカウンティングスクール）

国際的な実践教育を身につけMBA修得

より実践教育に特化した学びを求め、「国際会計」もしくは「ファイナンス」の修士学位を目指す専門職大学院です。「学生・教員・企業」と三位一体となって行う「ケーススタディ（実際の企業の経営分析をする授業）」や、「プロジェクト演習（コンサルティング提案を行う授業）」といった、MBA修得のための実践的な教育が行われています。

アカウンティングスクール（CGSA）の特徴は、知識の習得だけでなく、専門職大学院ならではの社会人学生を通じた学生間の「バックグラウンド・異業種間でのネットワークづくり」も重要な要素。CGSAは現役の学生にとって、国際職業人をめざす上で魅力的な選択肢の一つかもしれません。

また、2010年度より国際財務報告基準（IFRS）に対応した実務的なカリキュラムへ一新されました。日本企業へのIFRSの適用時に柔軟に対応できる次世代リーダーの育成をめざしています。

» 詳細については、CGSA ガイドブックをご覧ください

商学部生の進路

学生から、「商学部で広く学んだ教養などが就職活動に役立った」という声を聞きました。

ほかの学部に比べ、公認会計士などをめざした受験準備をする学生も多い中で、実は卒業生の約8割は企業への就職を決めている商学部。

知識の習得だけではなく「社会で生き抜く力を身につける」学びは、幅広い業界で活躍する企業人を生み出しています。

■ 就職先について

商学部の「商学」を学ぶ上で、やはり強いのが「経営」「会計」「商業・貿易」「金融」に関連した企業。教養を幅広く身につける学びが幅広い業種への就職を可能にしているといえます。また、近年特に多いのは「金融・保険業」。これも商学部の強みでもあります。

進路を決めるのは、皆さん自身です。目標のある学生ほど、ポテンシャルを發揮し、理想の企業への就職を決めています。

就職先ランキング	
1.	株式会社みずほフィナンシャルグループ
2.	有限責任あづさ監査法人
3.	郵便局株式会社
4.	明治安田生命保険相互会社 有限責任監査法人トーマツ
5.	株式会社常陽銀行
6.	多摩信用金庫 野村ホールディングス株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 株式会社りそなホールディングス
11.	第一生命保険株式会社 SMBC日興証券株式会社

主な就職先一覧	
建設業	情報サービス
大和ハウス工業株式会社	株式会社ワクスアプライケーションズ
日本コムシステム株式会社	株式会社エムティーアイ
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	株式会社富士通システムソリューションズ
三井ホーム株式会社	東京海上日動システム株式会社
鹿島建設株式会社	株式会社日立情報システムズ
工業・製造業	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
株式会社伊藤園	放送・新聞
日本アイ・ビー・エム株式会社	株式会社北日本放送
森永乳業株式会社	北海道文化放送株式会社
パナソニック電工株式会社	株式会社NEXTEP
TOTO株式会社	国際情報マネジメント有限会社
株式会社日立製作所	運輸
通信	東日本旅客鉄道株式会社
東日本電信電話株式会社	郵便事業株式会社
KDDI株式会社	ヤマト運輸株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	西武鉄道株式会社
ソフトバンク株式会社	株式会社ジェイティーピー
	東海旅客鉄道株式会社
建設業	卸・小売
大和ハウス工業株式会社	株式会社ミスミ
日本コムシステム株式会社	伊藤忠エヌクス株式会社
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	三井物産株式会社
三井ホーム株式会社	株式会社ジェイアール東日本商事
鹿島建設株式会社	株式会社光通信
工業・製造業	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
株式会社伊藤園	放送・新聞
日本アイ・ビー・エム株式会社	株式会社北日本放送
森永乳業株式会社	北海道文化放送株式会社
パナソニック電工株式会社	株式会社NEXTEP
TOTO株式会社	国際情報マネジメント有限会社
株式会社日立製作所	運輸
通信	東日本旅客鉄道株式会社
東日本電信電話株式会社	郵便事業株式会社
KDDI株式会社	ヤマト運輸株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	西武鉄道株式会社
ソフトバンク株式会社	株式会社ジェイティーピー
	東海旅客鉄道株式会社
情報サービス	銀行・金融
株式会社みずほフィナンシャルグループ	株式会社みずほフィナンシャルグループ
有限責任あづさ監査法人	株式会社常陽銀行
有限責任監査法人トーマツ	多摩信用金庫
新日本有限責任監査法人	新日本生命保険株式会社
レインズ株式会社	レインズ株式会社
山田ビジネスコンサルティング株式会社	山田ビジネスコンサルティング株式会社
専門・技術サービス業	公務員
有限責任あづさ監査法人	東京都八王子市役所
有限責任監査法人トーマツ	警視庁
新日本有限責任監査法人	会計検査院
レインズ株式会社	東京都庁
国税庁	金融庁
建設業	公務員
大和ハウス工業株式会社	東京都庁
日本コムシステム株式会社	警視庁
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	会計検査院
三井ホーム株式会社	東京都庁
鹿島建設株式会社	金融庁
工業・製造業	国税庁
株式会社伊藤園	建設業
日本アイ・ビー・エム株式会社	情報サービス業
森永乳業株式会社	運輸業・卸・小売業
パナソニック電工株式会社	卸・小売業
TOTO株式会社	情報サービス業
株式会社日立製作所	運輸業・卸・小売業
通信	運輸業・卸・小売業
東日本旅客鉄道株式会社	卸・小売業
郵便事業株式会社	運輸業・卸・小売業
ヤマト運輸株式会社	運輸業・卸・小売業
西武鉄道株式会社	卸・小売業
株式会社ジェイティーピー	卸・小売業
	建設業
東海旅客鉄道株式会社	情報サービス業
建設業	卸・小売業
大和ハウス工業株式会社	運輸業・卸・小売業
日本コムシステム株式会社	卸・小売業
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	卸・小売業
三井ホーム株式会社	卸・小売業
鹿島建設株式会社	卸・小売業
工業・製造業	卸・小売業
株式会社伊藤園	卸・小売業
日本アイ・ビー・エム株式会社	卸・小売業
森永乳業株式会社	卸・小売業
パナソニック電工株式会社	卸・小売業
TOTO株式会社	卸・小売業
株式会社日立製作所	卸・小売業
通信	卸・小売業
東日本旅客鉄道株式会社	卸・小売業
郵便事業株式会社	卸・小売業
ヤマト運輸株式会社	卸・小売業
西武鉄道株式会社	卸・小売業
株式会社ジェイティーピー	卸・小売業
	建設業
東海旅客鉄道株式会社	情報サービス業
建設業	卸・小売業
大和ハウス工業株式会社	運輸業・卸・小売業
日本コムシステム株式会社	運輸業・卸・小売業
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	運輸業・卸・小売業
三井ホーム株式会社	運輸業・卸・小売業
鹿島建設株式会社	運輸業・卸・小売業
工業・製造業	運輸業・卸・小売業
株式会社伊藤園	運輸業・卸・小売業
日本アイ・ビー・エム株式会社	運輸業・卸・小売業
森永乳業株式会社	運輸業・卸・小売業
パナソニック電工株式会社	運輸業・卸・小売業
TOTO株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社日立製作所	運輸業・卸・小売業
通信	運輸業・卸・小売業
東日本旅客鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
郵便事業株式会社	運輸業・卸・小売業
ヤマト運輸株式会社	運輸業・卸・小売業
西武鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社ジェイティーピー	運輸業・卸・小売業
	建設業
東海旅客鉄道株式会社	情報サービス業
建設業	卸・小売業
大和ハウス工業株式会社	運輸業・卸・小売業
日本コムシステム株式会社	運輸業・卸・小売業
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	運輸業・卸・小売業
三井ホーム株式会社	運輸業・卸・小売業
鹿島建設株式会社	運輸業・卸・小売業
工業・製造業	運輸業・卸・小売業
株式会社伊藤園	運輸業・卸・小売業
日本アイ・ビー・エム株式会社	運輸業・卸・小売業
森永乳業株式会社	運輸業・卸・小売業
パナソニック電工株式会社	運輸業・卸・小売業
TOTO株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社日立製作所	運輸業・卸・小売業
通信	運輸業・卸・小売業
東日本旅客鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
郵便事業株式会社	運輸業・卸・小売業
ヤマト運輸株式会社	運輸業・卸・小売業
西武鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社ジェイティーピー	運輸業・卸・小売業
	建設業
東海旅客鉄道株式会社	情報サービス業
建設業	卸・小売業
大和ハウス工業株式会社	運輸業・卸・小売業
日本コムシステム株式会社	運輸業・卸・小売業
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	運輸業・卸・小売業
三井ホーム株式会社	運輸業・卸・小売業
鹿島建設株式会社	運輸業・卸・小売業
工業・製造業	運輸業・卸・小売業
株式会社伊藤園	運輸業・卸・小売業
日本アイ・ビー・エム株式会社	運輸業・卸・小売業
森永乳業株式会社	運輸業・卸・小売業
パナソニック電工株式会社	運輸業・卸・小売業
TOTO株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社日立製作所	運輸業・卸・小売業
通信	運輸業・卸・小売業
東日本旅客鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
郵便事業株式会社	運輸業・卸・小売業
ヤマト運輸株式会社	運輸業・卸・小売業
西武鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社ジェイティーピー	運輸業・卸・小売業
	建設業
東海旅客鉄道株式会社	情報サービス業
建設業	卸・小売業
大和ハウス工業株式会社	運輸業・卸・小売業
日本コムシステム株式会社	運輸業・卸・小売業
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	運輸業・卸・小売業
三井ホーム株式会社	運輸業・卸・小売業
鹿島建設株式会社	運輸業・卸・小売業
工業・製造業	運輸業・卸・小売業
株式会社伊藤園	運輸業・卸・小売業
日本アイ・ビー・エム株式会社	運輸業・卸・小売業
森永乳業株式会社	運輸業・卸・小売業
パナソニック電工株式会社	運輸業・卸・小売業
TOTO株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社日立製作所	運輸業・卸・小売業
通信	運輸業・卸・小売業
東日本旅客鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
郵便事業株式会社	運輸業・卸・小売業
ヤマト運輸株式会社	運輸業・卸・小売業
西武鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社ジェイティーピー	運輸業・卸・小売業
	建設業
東海旅客鉄道株式会社	情報サービス業
建設業	卸・小売業
大和ハウス工業株式会社	運輸業・卸・小売業
日本コムシステム株式会社	運輸業・卸・小売業
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	運輸業・卸・小売業
三井ホーム株式会社	運輸業・卸・小売業
鹿島建設株式会社	運輸業・卸・小売業
工業・製造業	運輸業・卸・小売業
株式会社伊藤園	運輸業・卸・小売業
日本アイ・ビー・エム株式会社	運輸業・卸・小売業
森永乳業株式会社	運輸業・卸・小売業
パナソニック電工株式会社	運輸業・卸・小売業
TOTO株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社日立製作所	運輸業・卸・小売業
通信	運輸業・卸・小売業
東日本旅客鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
郵便事業株式会社	運輸業・卸・小売業
ヤマト運輸株式会社	運輸業・卸・小売業
西武鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社ジェイティーピー	運輸業・卸・小売業
	建設業
東海旅客鉄道株式会社	情報サービス業
建設業	卸・小売業
大和ハウス工業株式会社	運輸業・卸・小売業
日本コムシステム株式会社	運輸業・卸・小売業
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	運輸業・卸・小売業
三井ホーム株式会社	運輸業・卸・小売業
鹿島建設株式会社	運輸業・卸・小売業
工業・製造業	運輸業・卸・小売業
株式会社伊藤園	運輸業・卸・小売業
日本アイ・ビー・エム株式会社	運輸業・卸・小売業
森永乳業株式会社	運輸業・卸・小売業
パナソニック電工株式会社	運輸業・卸・小売業
TOTO株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社日立製作所	運輸業・卸・小売業
通信	運輸業・卸・小売業
東日本旅客鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
郵便事業株式会社	運輸業・卸・小売業
ヤマト運輸株式会社	運輸業・卸・小売業
西武鉄道株式会社	運輸業・卸・小売業
株式会社ジェイティーピー	運輸業・卸・小売業
	建設業
東海旅客鉄道株式会社	情報サービス業
建設業	卸・小売業
大和ハウス工業株式会社	運輸業・卸・小売業
日本コムシステム株式会社	運輸業・卸・小売業
三井電機ビデオテクノサービス株式会社	運輸業・卸・小売業
三井ホーム株式会社	運輸業・卸・小売業
鹿島建設株式会社	運輸業・卸・小売業
工業・製造業	運輸業・卸・小売業

商学部Q&A

Q 商学部と経済学部の違いは何ですか？

A 「経済・産業・政府」についての大きな仕組みを学ぶ経済学部に対し、商学部では「企業」の活動について学びます。例えるならば、経済学部の学びが「森」ならば、商学部の学びは森のなかに生えている「木」。商学部では経済全体（森）についても学習しながら、経営・会計・商業・貿易・金融などの各専門分野を掘り下げて学んでいきます。

Q 必修単位以外でも、外国語科目を履修できますか？

A 自由選択枠の範囲で可能です。フレックス PlusI・コースは必修の外国語が1言語となるため、語学を多く学びたい方は選択外国語を追加履修してください。

Q 公認会計士をめざすには、どの学科がお勧めですか？

A 自由選択枠により、学科を超えた授業の履修が可能なため、お勧めの学科は特にありません。ただし、会計学科の必修科目には会計系の科目が多く、学科と会計士の学びを同時に学ぶため、入学前から公認会計士をめざす方は会計学科を志望している傾向があります。もちろん、入学後に公認会計士をめざす方も珍しくありません。ただ、どの学科へ入学しても、大多数の方は学科の学びと並行して本学「経理研究所」などの専門学校に所属し、試験対策を行っているのが現状です（P.20も参照ください）。

Q 所属学部・学科以外の授業の履修は可能ですか？

A 商学部の他学科の科目履修はもちろん、他学部の科目履修も認めています。幅広い見地から多角的に自分の研究分野を学び知識を習得できます。なお、他学部履修で修得した単位は、商学部カリキュラムの単位に充当されます（P.14も参照ください）。

Q フレックス・コースとフレックス PlusI・コースの違いは何ですか？

A フレックス・コースに比べフレックス PlusI・コースはより専門分野を深く学べるカリキュラムとなっています。専門分野を学ぶプログラムを設定できるほか、より専門分野の履修ができるよう外国語の必修単位を少なくしていることなどが特徴です（P.03・17も参照ください）。

Q 6・7 時限の授業の履修だけで卒業はできますか？

A 商学部では、2006年度より昼夜開講制廃止に伴い夜間主コースの募集を停止しており、6・7 時限および土曜日の授業の履修だけでは卒業単位を修得できません。

Q 数学が苦手です。入学後の授業についていけますか？

A 数学を苦手とする商学部生はたくさんいます。しかし、不得意だけで単位を修得できないことは実は「まれ」です。授業へ出席し、予習・復習を行えば、授業を理解することはできます。また、商学部では履修科目によって求められる数学レベルも異なるため、必ずしも高校までの数学の学びが直接役立つとは限りません。とはいえ、念のため入学前に復習しておくことはお勧めします。

Q 商学部は昔からある学びですか？

A 商学の文字通り、商（あきな）いを学ぶことは昔から必要なことでした。企業形態が多様化、グローバル化する現代では、その必要性はより大きくなっています。
中央大学商学部は、2012年度に創設103年目を迎えます。